

HOT コミュニケーション

当別高校の生徒が除雪ボランティア

2月22日に、当別高校1～2年生の約40名が、春日団地で除雪ボランティア活動を行いました。当別町社会福祉協議会協力で4年ぶりに行われたこの活動は「安全・感謝・協働」をテーマとして、生徒



たちは水分を含んで重くなった雪を一生懸命に除雪し、町営住宅の住人から、感謝の言葉が贈られていました。

白銀の世界で雪遊び

北欧の風 道の駅とうべつで「スノーフェスティバル2024」が2月23日と24日に開催されました。会場では雪上ラフティングの体験ができたほか、子ども向けの雪の遊び場などが設けられ、多く



の親子連れが来場。雪上ラフティングを体験した男性は「遠心力がすごく、とても楽しかった」と声を弾ませていました。

タブレットで楽しく学ぶ「そろタッチ体験会」

町教委主催の5歳児向け「そろタッチ無料体験会」が2月23日に西当別コミセン、25日に白樺コミセンで開催されました。株式会社シーラクス



のスタッフによる指導のもと、子どもたちはタブレット端末を使って簡単なゲームを行い、そろばん式暗算を学習。就学に向けてタブレット端末に慣れ親しむことができました。

今年度最後も大盛況！

2月24日と25日に、令和5年度最後となる「そうざいBANZAIフェス」が開催されました。2日間で過去最多となる13店舗が出店され、開始直後からふれあい倉庫は大盛況。普段店舗では買えない商品



もあり、行列が絶えずすぐに完売となるブースも。訪れた方は、ご飯の時間を楽しみに、笑顔で帰路についていました。

広 告

広 告

広 告

HOT コミュニケーション

手縫いで作って健康長寿祈願

3月1日に、ことぶき大学の講座「吊るし飾りづくり」が青柳百合子さんを講師に迎え、ゆとろで行われました。講座では、着物の切れ端を縫い合わせ、その中に真綿を詰め込むなどをして、健康長寿を願うお守りとされる「さるぼ



ぼ」を苦戦しつつも製作。参加者は「パソコンより難しいね」など話しながら、楽しく作り上げていました。

色撮り鳥伸びよ！

町内の認定こども園は、町の補助でタブレットなどを導入し、3月11日には、当別夢の国幼稚園で、指定された色を撮影してステンドグラス風の絵を作るアプリ「とりえ」が行われました。園児たちは、友



達と協力して色を探し、タブレットで撮影。完成した絵に驚いていました。今後も両園は、デジタル教育に取り組む予定です。

コロナ禍にも負けない全校児童の力

3月4日に、西当小の全校児童が体育館に一堂に会し、「6年生を送る会」が行われました。小学校生活の長い間をコロナ禍で過ごした6年生のために、最後の全校集会は楽しい思い出となるよう、1



～5年生がダンスや歌、学校にまつわるクイズなどを感謝の気持ちを込めて披露。6年生からはお礼の歌が送られました。

産官学連携による米袋のデザインをします

当別高校園芸デザイン科では、令和6年当別町産の新米「ななつぼし」の米袋の開発を、株式会社ミツハシと産学官連携で進めています。米袋は環境に配慮した素材で、デザインは生徒が担当。3月19



日の授業では、「当別町の農業活性化」をコンセプトにデザインの基本を学び、各々のデザインを描きました。

広 告

広 告